

## 令和 4 年度から臨床研修を開始する研修医の募集定員について（案）

## ＜考え方＞

各病院の令和 4 年度の募集定員については、別紙のとおり各病院の希望定員数どおりとする。

○各病院の希望定員 合計（内訳は別紙） 1 1 0 人

○厚生労働省が決定した令和 4 年度の大分県の募集定員上限 1 2 0 人

※参考：令和 3 年度の大分県の募集定員合計 1 1 1 人

## 1. 募集定員の設定について

令和 2 年度より（令和 3 年度から研修を開始する研修医募集定員から）、病院ごとの募集定員の設定が県に権限移譲されている。

令和 4 年度定員及び配分定員の算定方法については、令和 3 年 4 月 1 5 日までに地域医療対策協議会の審議を踏まえ、九州厚生局あてに報告を行う必要がある。

## 2. 大分県の募集定員の設定方法について

設定方法については、従来どおり病院の希望数を基本とし、各病院の希望数が上限を上回った場合は、地域医療対策協議会で配分先を検討・調整することとする。

## 3. 各病院の定員希望について

各病院へ定員希望調査を行った結果、大分中村病院についてはたすき掛け研修医受入の関係で 1 名減を希望し、他の病院は現行定員数が研修の質を保てる適正数という理由で令和 3 年度と同数の要求であった。

(別紙)

## 令和4年度から研修を開始する研修医の募集定員(案)

### 【考え方】

各病院の希望定員数の合計が、国が示した大分県の上限を下回るため、各病院の希望する人数とする。

### 【病院ごとの定員希望等】

病院名	令和3年度 定員	令和4年度 希望定員	令和4年度 定員(案)	(参考) 前年度から の増減
国 立 病 院 機 構 別 府 医 療 セ ン タ ー	9	9	<b>9</b>	0
大 分 県 立 病 院 ( ※ 自 治 医 含 む )	17	17	<b>17</b>	0
大 分 大 学 医 学 部 附 属 病 院	44	44	<b>44</b>	0
大 分 大 学 ( 医 学 部 ) 附 属 病 院 ( 小 ・ 産 )	4	4	<b>4</b>	0
社 会 医 療 法 人 敬 和 会 大 分 岡 病 院	5	5	<b>5</b>	0
中 津 市 民 病 院 中 津 市 立 院	5	5	<b>5</b>	0
大 分 県 厚 生 連 鶴 見 病 院	4	4	<b>4</b>	0
大 分 中 村 病 院	5	4	<b>4</b>	-1
国 立 病 院 機 構 大 分 医 療 セ ン タ ー	2	2	<b>2</b>	0
大 分 赤 十 字 病 院	5	5	<b>5</b>	0
大 分 県 済 生 会 日 田 病 院	2	2	<b>2</b>	0
新 別 府 病 院	4	4	<b>4</b>	0
大 分 市 医 師 会 立 院 ア ル メ イ ダ 病 院	5	5	<b>5</b>	0
大分県 計	111	110	<b>110</b>	-1
大分県募集定員上限	<b>120</b>			

事 務 連 絡  
令和 2 年 12 月 14 日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省医政局医事課  
医師臨床研修推進室

令和 4 年度から臨床研修を開始する研修医の募集定員上限について

平素より医師臨床研修制度の推進にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

標記については、令和 2 年 12 月 10 日に開催された令和 2 年度第 3 回医道審議会医師分科会医師臨床研修部会の審議を踏まえ、医師法第 16 条 3 に基づく研修医の定員を別紙のとおり決定しましたのでご連絡いたします。

つきましては、令和 3 年 4 月 15 日（木）までに、地域医療対策協議会等の審議を踏まえ、別紙上限の範囲内で管内臨床研修病院の定員配分及び当該定員の算定方法について、地方厚生局医事課宛てご提出願います。

なお、基礎医学系の大学院に入学する医師を対象とした臨床研修と基礎医学を両立するための研修プログラム（基礎研究医プログラム）にかかる定員については、別途通知することを申し添えます。

## 令和4年度臨床研修 都道府県別募集定員の上限

(単位:人)

	R3年度募集 定員上限	R3年度病院 募集定員合計 (※1)	R2年度 採用実績	基本となる数 (全国の研修医総 数推計値を人口分 布や医学部入学 定員で按分) (※2)	地域枠による 加算 (※3)	地理的条件等による加算		基本となる数と加 算の合計(仮上限)	R4募集定員 上限 (※5)	
						地理的条件(100kmあ たりの医師数、離島 の人口)による加算 (※4)	医師少数区域の人 口、都道府県間の 医師偏在状況に応 じた加算			
				①	②	③-1	③-2	④ ①+②+③	⑤	
北海道	457	457	352	347	32	38	19	436	425	北海道
青森	173	150	86	99	35	10	22	166	156	青森
岩手	172	131	61	97	37	10	24	168	154	岩手
宮城	242	231	175	183	21	14	19	237	229	宮城
秋田	151	109	74	77	31	8	21	137	129	秋田
山形	141	115	68	85	22	10	19	136	127	山形
福島	216	166	102	122	55	13	22	212	198	福島
茨城	276	251	163	189	51	0	29	269	255	茨城
栃木	208	190	163	128	14	9	20	171	170	栃木
群馬	187	149	98	128	17	9	19	173	163	群馬
埼玉	557	504	409	485	36	0	26	547	529	埼玉
千葉	485	475	417	413	51	0	19	483	475	千葉
東京	1,358	1,364	1,351	1,103	26	7	21	1,157	1,351	東京
神奈川	662	663	652	607	15	0	14	636	652	神奈川
新潟	249	192	96	147	37	23	27	234	216	新潟
富山	125	115	81	83	11	6	14	114	110	富山
石川	135	139	108	90	18	7	13	128	125	石川
福井	106	103	48	61	12	5	15	93	87	福井
山梨	132	83	58	64	48	5	14	131	122	山梨
長野	194	182	140	135	16	10	20	181	176	長野
岐阜	211	206	137	131	40	10	18	199	191	岐阜
静岡	310	300	265	241	30	1	22	294	290	静岡
愛知	566	569	551	499	33	1	17	550	551	愛知
三重	190	153	128	118	50	10	16	194	186	三重
滋賀	139	131	119	99	9	8	13	129	128	滋賀
京都	248	256	270	194	8	0	11	213	248	京都
大阪	632	649	627	582	14	0	12	608	627	大阪
兵庫	417	419	425	361	17	2	13	393	417	兵庫
奈良	144	144	118	103	11	0	13	127	126	奈良
和歌山	117	120	101	73	41	6	13	133	129	和歌山
鳥取	103	86	38	44	26	4	12	86	80	鳥取
島根	105	81	53	53	37	11	14	115	107	島根
岡山	199	203	194	150	8	12	12	182	194	岡山
広島	232	215	166	185	23	3	13	224	217	広島
山口	153	137	95	106	22	9	16	153	146	山口
徳島	97	79	49	58	16	6	13	93	87	徳島
香川	121	110	62	76	17	9	14	116	109	香川
愛媛	157	157	82	104	21	12	14	151	142	愛媛
高知	99	99	56	55	36	5	13	109	102	高知
福岡	424	424	381	398	3	1	12	414	410	福岡
佐賀	93	90	69	65	4	1	13	83	81	佐賀
長崎	169	144	118	105	16	30	13	164	158	長崎
熊本	157	147	83	115	13	10	14	152	143	熊本
大分	135	111	83	90	14	8	14	126	120	大分
宮崎	136	102	56	85	16	7	19	127	118	宮崎
鹿児島	192	149	108	109	18	41	15	183	173	鹿児島
沖縄	177	177	139	106	16	29	12	163	160	沖縄

(※1)施設ごとの募集定員を原則最低2人にする等の都道府県が行う調整により、病院募集定員合計が厚生労働省の示した募集定員上限を上回る場合がある。

(※2)「研修医総数推計値」は、令和4年度研修希望者数推計値に、研修希望者数に対する採用実績数の割合の過去3年平均(0.89)を乗じて算出。

一令和4年度研修の希望者数推計値 10,052人×0.89=8946人

(※3)①都道府県が奨学金を貸与しており、かつ、都道府県での従事要件の課されている者の人数、②令和2年8月の医師需給分科会において示された地域枠の定義の要件を満たしている者の人数、の合計に今回の倍率(1.08)を乗じて算出。

(※4)面積当たり医師数については、全国の平均値よりも少ない場合等に加算。

(※5)④から⑤への計算は、前年度採用数等の保証による激変緩和のための加減であり、増加する都道府県の定員数の合計を、他の都道府県の仮上限から、当該都道府県の仮上限と前年度採用実績との差に応じて減ずることにより調整。

(※6)四捨五入等の関係で表記上合計が一致しない場合がある。

(※7)医師偏在指標に対しては、面積・離島・山間部等の地理的条件や、教育や研究を臨床と併せて行っている医師の勤務の状況等を十分に踏まえていないという指摘がある。臨床研修定員の算定に当たってはこれらの課題について一定程度対応しているが、医師偏在指標については、今後、これらの課題を整理の上で、指標や当該指標を活用した施策において地域の実状をより正確に反映する手法について引き続き検討することとしている。

(※8)基礎研究医プログラムは、募集定員上限の枠外に設定できることとする。

# 令和4年度の臨床研修医募集における都道府県別の募集定員上限

第3回医道審議会医師分科会 医師臨床研修部会	資料3 一部改
令和2年12月10日	

## ■ 全国の募集定員上限(A)

$$\text{研修希望者数} \times 1.08^{※1} + \text{前年度の定員上限と募集定員の差分} \times 3/5^{※2}$$

※1 令和7年までに段階的に1.05まで縮小  
※2 令和7年までに段階的に縮小・廃止

## ■ 各都道府県の募集定員上限

### B 人口分布

$$\begin{aligned} & \left( \begin{array}{l} \text{全国の研修医総数(推計)} \times \frac{\text{都道府県の人口}}{\text{全国の総人口}} \\ \text{C 医学部入学定員} \\ \text{全国の研修医総数(推計)} \times \frac{\text{医学部入学定員}}{\text{全国の医学部入学定員}} \end{array} \right) \end{aligned}$$

### ① 基本となる数

$$\begin{aligned} & \text{全国の研修医総数(推計)} \times \frac{\text{BとCの多い方}^*}{\text{BとCの多い方}^* \text{の全都道府県合計}} \\ & * \text{C(入学定員)を用いる場合、B(人口分布)の1.2倍を限度とする} \end{aligned}$$

### ③ 地理的条件等による加算

- (1) 100kmあたり医師数<sup>※3</sup>
- (2) 離島の人口<sup>※3</sup>
- (3) 医師少数区域の人口<sup>※4</sup>
- (4) 都道府県間の医師偏在状況<sup>※5</sup>

$$\text{地域枠医師数} \times 1.08 \text{ (今回の倍率)}$$

+

### ② 地域枠による加算

※3 それぞれに一定の係数をかけた値を加算  
※4 残りの定数に 都道府県の医師少数区域の人口/全国の人口 をかけた数を加算  
※5 さらに残った数を、都道府県間の医師偏在状況に応じて按分

### ④ 激変緩和

・①～③の合計が令和2年度の採用実績に満たない場合、令和2年度採用数を当該都道府県の上限とする。ただし、令和2年度の採用数が令和3年度の募集定員上限よりも多い場合は、令和3年度の募集定員上限を当該都道府県の上限とする。

・上記により追加する定数については、他の都道府県の定数から

$$\frac{\text{各都道府県の(①～③の合計 - 前年度の採用実績)}}{\text{他の都道府県の(①～③の合計 - 前年度の採用実績)の合計}} \text{ に応じて減ずる}$$

省令施行通知（定員部分抜粋）

医政発第0612004号

平成15年6月12日

（一部改正平成31年3月29日）

（一部改正令和2年3月30日）

各都道府県知事殿

厚生労働省医政局長

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について

第2 臨床研修省令の内容及び具体的な運用基準

23 地域における研修医の募集定員の設定

都道府県知事は、地域における臨床研修病院群の形成を促進し、地域医療を安定的に確保するため、都道府県は、管轄する地域における各病院の研修医の募集定員について、厚生労働大臣が定める都道府県ごとの研修医の定員の範囲内で、以下の方法により設定を行うこと。

(1) 募集定員の上限

（略）

(2) 都道府県における病院ごとの募集定員の設定

都道府県知事は、(1)にて設定された上限の範囲内で、医師少数区域等における医師の数の状況、各病院の研修医の受入実績、その他地域の実情等を勘案して、地域医療対策協議会の意見を踏まえ、病院ごとの定員の算定方法をあらかじめ定め、当該定員を設定すること。

その際、(1)アの医師少数区域の人口によって加算された配分については、医師少数区域の基幹型臨床研修病院等に配分することとし、前述5の(1)ア(カ)により小児科・産科研修プログラムを設けた病院に対し、当該研修プログラムの募集定員分として、募集定員の上限から4を配分すること。

また、前述5の(1)ア(ク)により基礎研究医プログラムを設けた病院に対し、当該プログラムの募集定員分として、国が定める都道府県ごとの定員枠から配分すること。

(3) 都道府県における病院ごとの募集定員の算定方法

(2)の定員の算定方法は、医療法及び医師法の一部を改正する法律（平成30年法律第79号）施行前に、国において採用していた次の算定方法を参酌の上、定めること。

（略）

24 募集定員の通知

- (1) 都道府県知事は、法第16条の3第3項の規定により臨床研修病院ごとの研修医の定員を定めたときは、当該定員による臨床研修が行われる年度の前年度の4月30日までに、その旨をそれぞれの臨床研修病院に通知しなければならないこと。
- (2) 都道府県知事は、臨床研修病院ごとの定員を定めるにあたっては、法第16条の3第5項の規定により、あらかじめ厚生労働大臣に研修医の募集定員のほか、当該定員の算定方法を通知しなければならないこと。
- (3) 都道府県は、当該通知書を管轄する地方厚生局健康福祉部医事課あてに送付すること。

25 臨床研修に関する地域医療対策協議会

- (1) 都道府県は、地域における研修医の確保、臨床研修の質の向上を図るため、地域医療対策協議会を開催し、関係者が協議する場とすること。
- (2) 地域医療対策協議会の構成員については、「地域医療対策協議会運営指針について」（平成30年7月25日付け医政発0725第15号厚生労働省医政局長通知）を参照とすること。
- (3) 地域医療対策協議会は、以下の項目について協議、検討すること。
  - ア 地域における臨床研修の質の向上に関すること。
  - イ 地域における研修医の確保に関すること。
  - ウ 地域における研修医の募集定員の設定に関すること。
  - エ 地域における指導医の確保、養成に関すること。
  - オ 地域における臨床研修病院群の形成に関すること。
  - カ 臨床研修病院の指定や取消に関すること。
  - キ 地域密着型臨床研修病院の認定に関すること。